

2008年1月15日

楽しみながら木の魅力・木の家の価値を発見
六本木ヒルズで 『Sustainable Forest Gallery 2008』 を開催
木と共に循環させるサステナブルな未来を紹介するイベント

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号）では、2008年1月15日から21日までの1週間、六本木ヒルズ 多目的スペース「umu(ウム)」にて、木の持つ可能性やその魅力をさまざまな角度から紹介するイベント「Sustainable Forest Gallery 2008（サステナブル フォレスト ギャラリー 2008）」を開催いたします。この「サステナブル フォレスト ギャラリー」は、ご好評いただきました昨年の表参道ヒルズでの開催に続き2回目となります。

本ギャラリーでは当社創業以来、100年単位で木とともに育んできたサステナブルな事業展開をもとに、国産材を活用していくことの重要性や、木の家に暮らす価値、本業を通じた環境保全への取組みなどについて、親しみやすく、楽しく紹介していきます。木を植え、育て、伐って活用し、そしてまた植えて森を育てていくこと、日本の森林を守ることの重要性、木の優れた特質など、パネルや各種樹種サンプルや模型を通し、五感を使って木の魅力に親しんでいただくイベントです。

また、期間中の平日に限り人事採用担当者が常駐し、就職活動中の学生の皆さんに対してフレンドリーに当社グループを知っていただくコミュニケーションの「場」としても活用します。「住友林業の家」を検討いただくお客様はじめ、一般の方々へ向け広く情報発信をめざし、より身近に森のこと、木のこと、環境のことを考えながら、多くの方々に木の良さ、木の価値、森のすばらしさなど、見て触れて親しんでいただける、当社独自のイベントです。

《 開催概要 》

- 開催期間 2008年1月15日（火） ～ 1月21日（月） 11:00～20:00
（初日の15日は16:00～20:00、最終日21日は11:00～18:00となります。）
- 会場 六本木ヒルズ 多目的スペース「umu(ウム)」 （テレビ朝日1F）
- 内容 再生可能な資源である「木」の良さや、住友林業のサステナブルな事業展開を紹介
 - 本物のヒノキの苗木や丸太、さまざまな樹種サンプルの展示、説明
 - 森林や木の重要性、木の家の価値、環境保全に関する情報パネルの展示
 - 会場内にてスタンプラリーを実施
スタンプラリーご参加の方に、日高川源流に位置し「水源の森百選」にも選定されている和歌山県内当社社有林近隣より採取されたミネラルウォーターをプレゼント。
 - 土・日には当社社員によるトークイベントを開催
森と木のエキスパート、木の家の専門家である当社社員が、再生可能な資源である木の活用、森を守り育てることの大切さなどについて語るトークイベントを予定。
（1月19日(土)、1月20日(日) 14:00～/15:00～の各日2回 計4回）



会場イメージ図
六本木ヒルズ 多目的スペース「umu（ウム）」



叩いたり、触れたりすることで
木を感じるコーナー

五感で木のよさを体感できる
コンテンツを用意



けやき坂通りのライトアップに
照らされる会場

以上

<本件に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。>

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 三浦・三輪
TEL：03-3214-2270